

東広島市立小中学校

令和2年度 ネット・スマホ等の利用状況アンケート調査

結果の概要【速報値】

令和2年11月

東広島市教育委員会（青少年育成課）

1 調査目的

児童生徒を取り巻くネット環境やスマホ等の使用実態を把握し、SNSの利用等に係るトラブルや生活習慣の乱れなどの諸課題の未然防止等に向けた指導、啓発、安全対策等の参考として活用する。

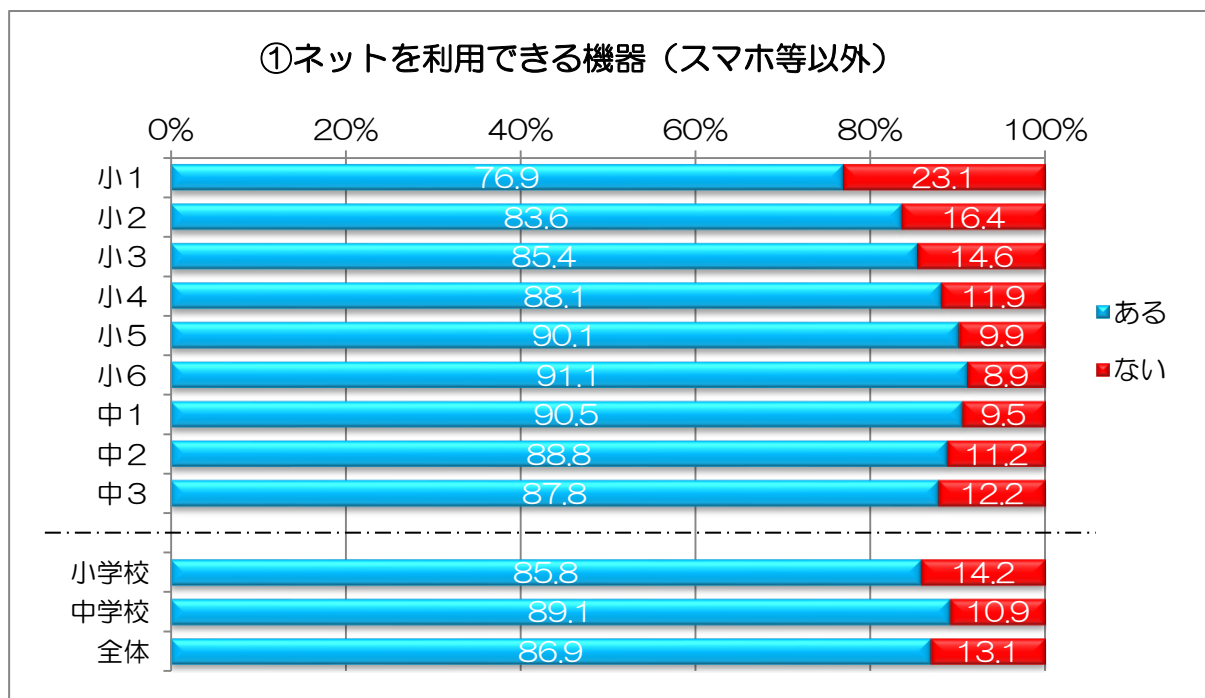
2 調査設計

- (1) 方法 児童生徒：質問紙によるアンケート（記名式マークシートで回答）
保護者：質問紙によるアンケート（無記名式Googleフォームで回答）
※Googleフォームでの回答が難しい場合は質問紙に記入して回答
- (2) 対象 小学校：市内小学校34校に在籍する第4学年から第6学年の児童
及び第1学年から第6学年の保護者
中学校：市内中学校14校に在籍する全生徒及び全保護者
- (3) 期間 令和2年9月から10月
- (4) 回答者数 小学校：児童5,588人（回答率98.0%）
保護者9,072人（回答率79.9%）
中学校：生徒4,547人（回答率95.2%）
保護者4,282人（回答率89.6%）

3 調査結果

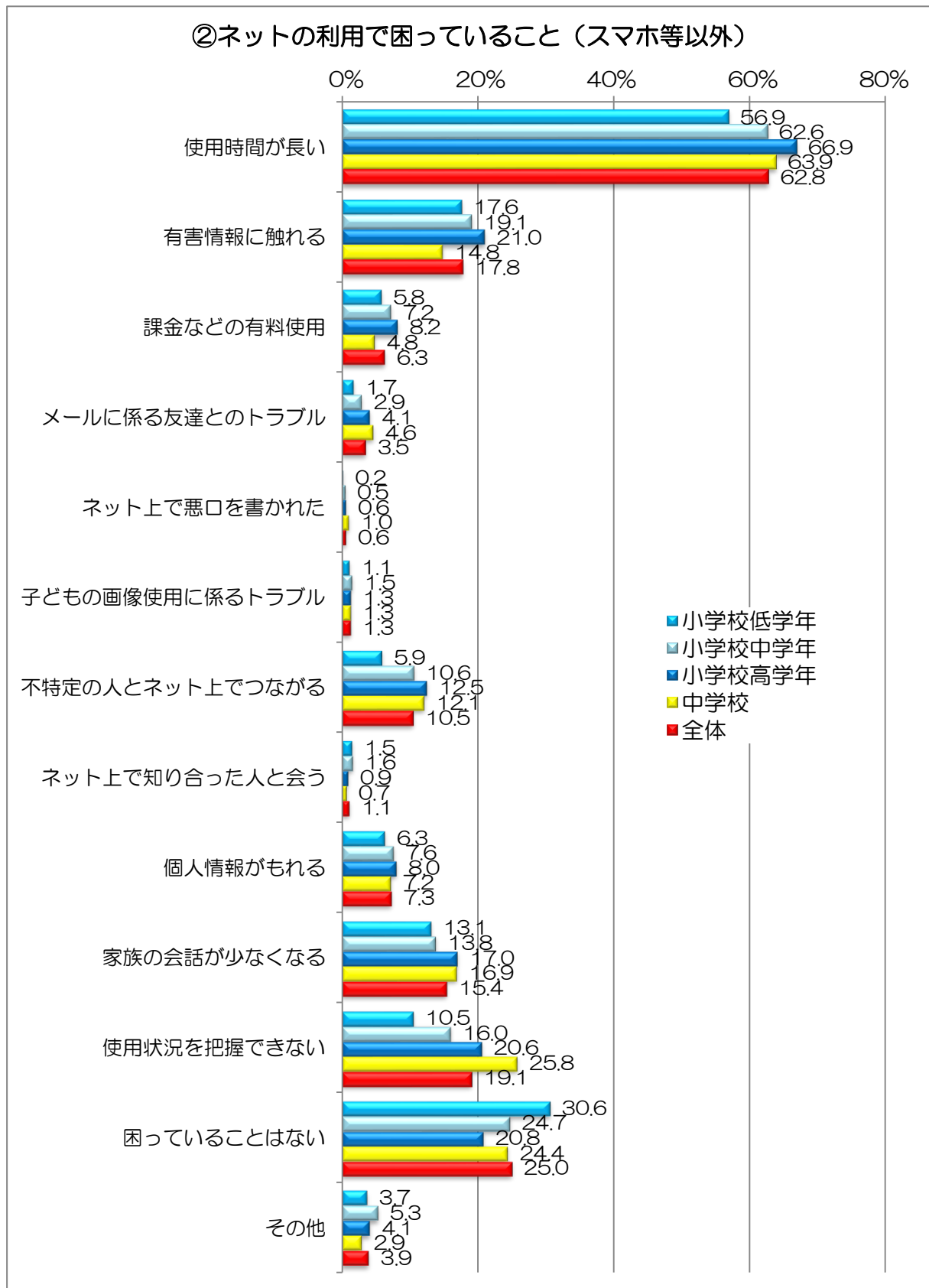
(1) 保護者

質問① ご家庭にお子さんがインターネットを利用できるタブレット、パソコン、ゲーム機、音楽プレイヤー等がありますか。（スマートフォンや携帯電話は除く）



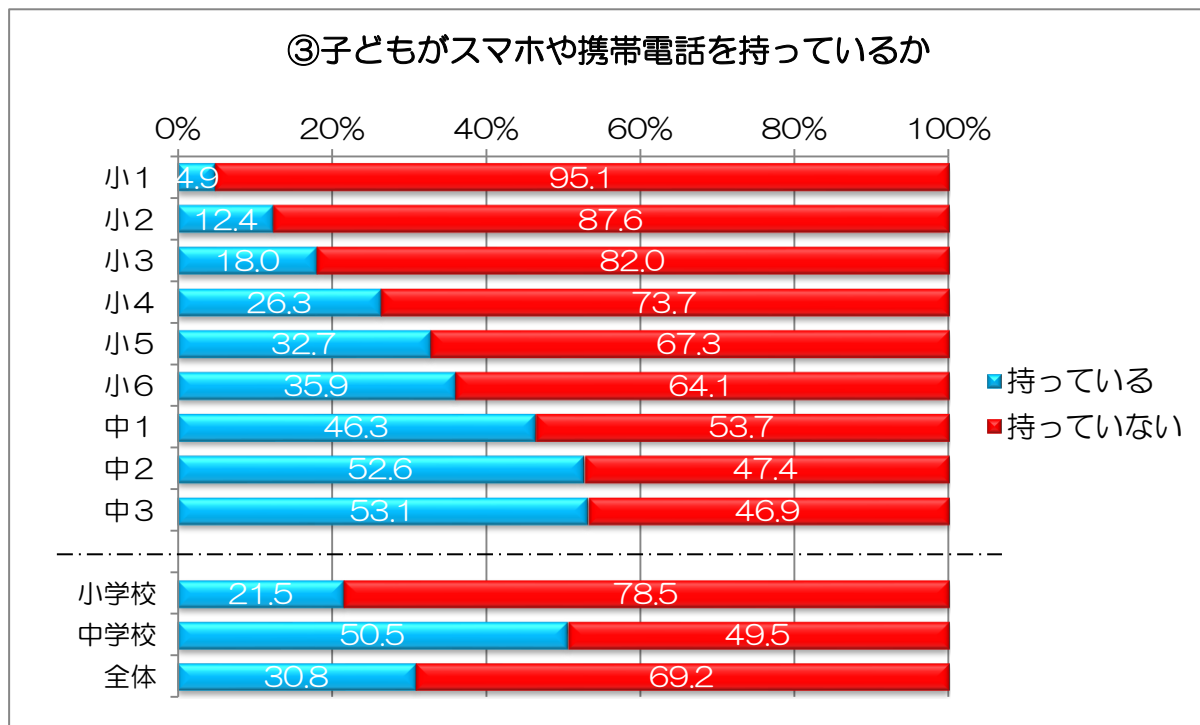
- 本市の小中学生の約87%はスマートフォンや携帯電話以外でインターネットを利用できる環境にある。
- 小学校低学年から約8割がインターネットを利用できる。

質問② 質問①で「ある」と回答された方で、タブレット、パソコン、ゲーム機、音楽プレイヤー等の使用で困っていることはなんですか。（スマートフォンや携帯電話は除く）



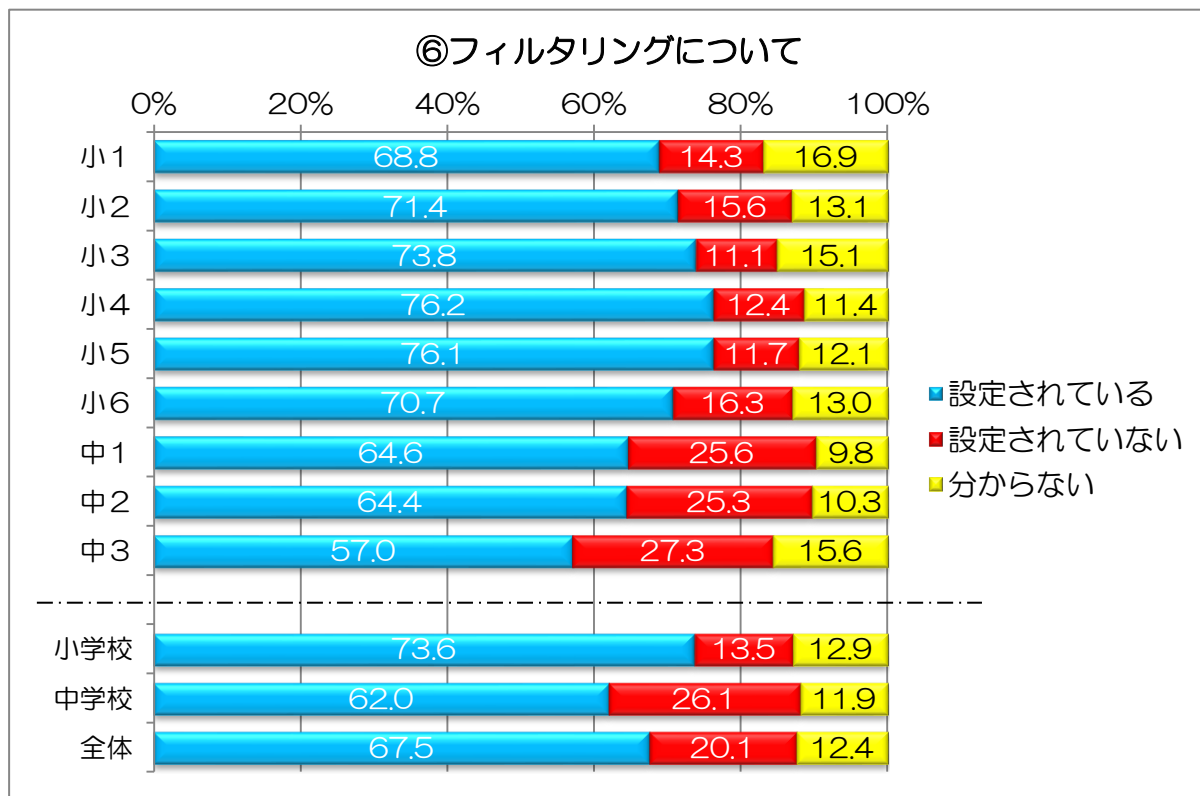
- ・約6割の保護者が子供のネット利用で困っていることに「使用時間が長い」をあげている。
- ・「困っていることはない」と回答した保護者は、概ね3割以下である。

質問③ お子さんはスマートフォンや携帯電話を持っていますか。



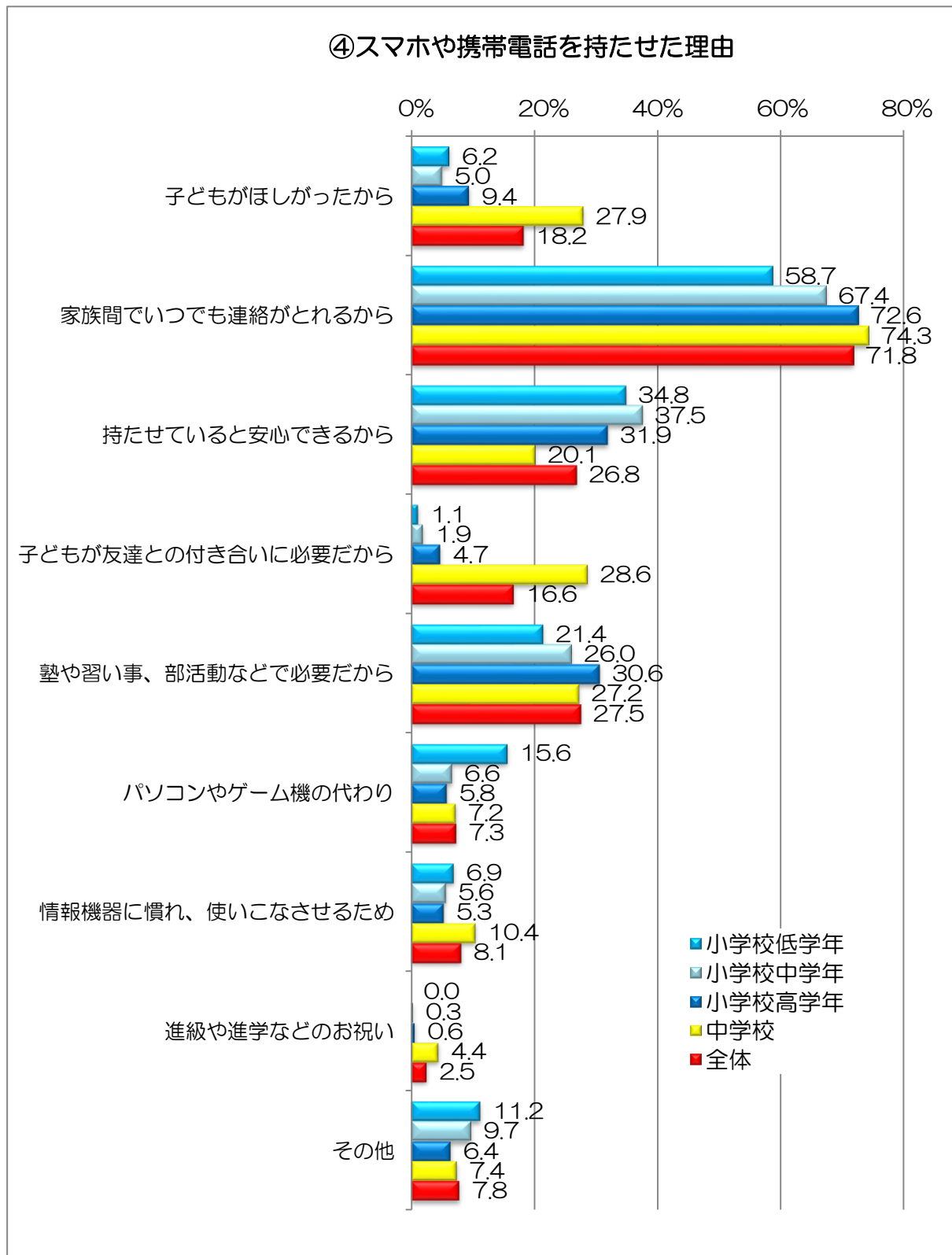
・東広島市教育委員会として、児童生徒のスマートフォン等の所持は原則禁止としてきたが、小学生の約2割、中学生で約5割が所持している。

質問⑥ 質問③で「持っている」と回答された方で、お子さんのスマートフォンや携帯電話にはフィルタリングが設定されていますか。



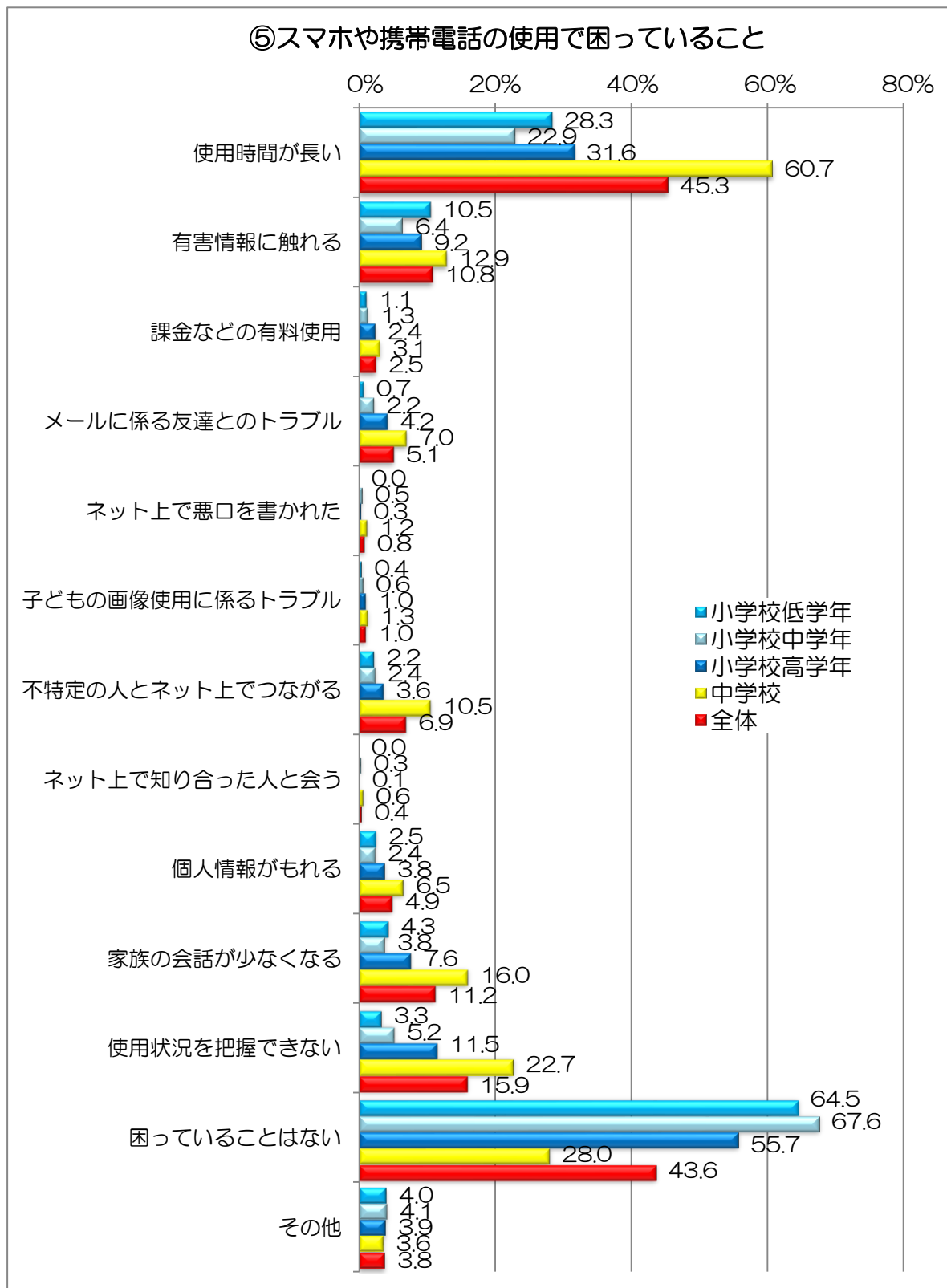
・小学生の3割弱、中学生の4割弱は、フィルタリングの設定がされていない可能性がある。

質問④ 質問③で「持っている」と回答された方で、スマートフォンや携帯電話を持たせた理由は何ですか。(複数回答可)



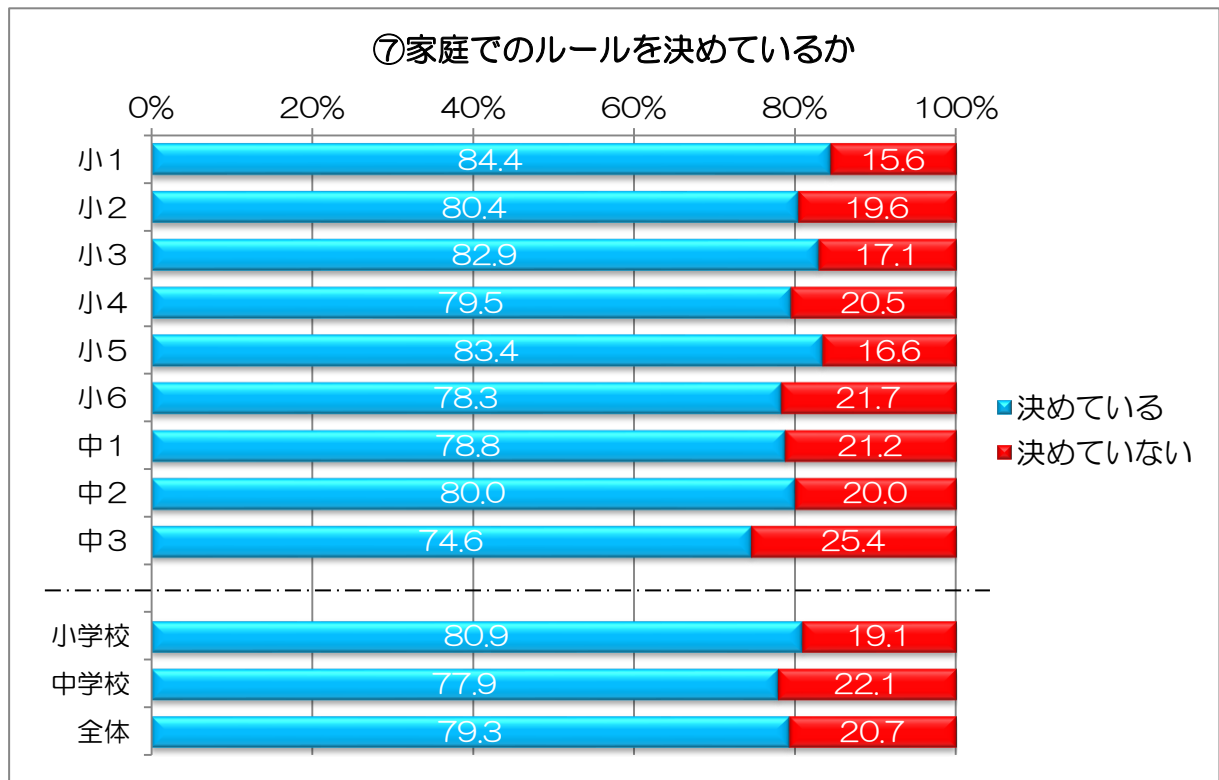
・「子どもがほしがったから」18.2%と比べ、「家族間でいつでも連絡がとれるから」71.8%や「持たせていると安心できるから」26.8%等が多いことから、保護者の意向で持たせている傾向が見られる。

質問⑥ 質問③で「持っている」と回答された方で、お子さんのスマートフォンや携帯電話の使用で困っていることはなんですか。（複数回答可）

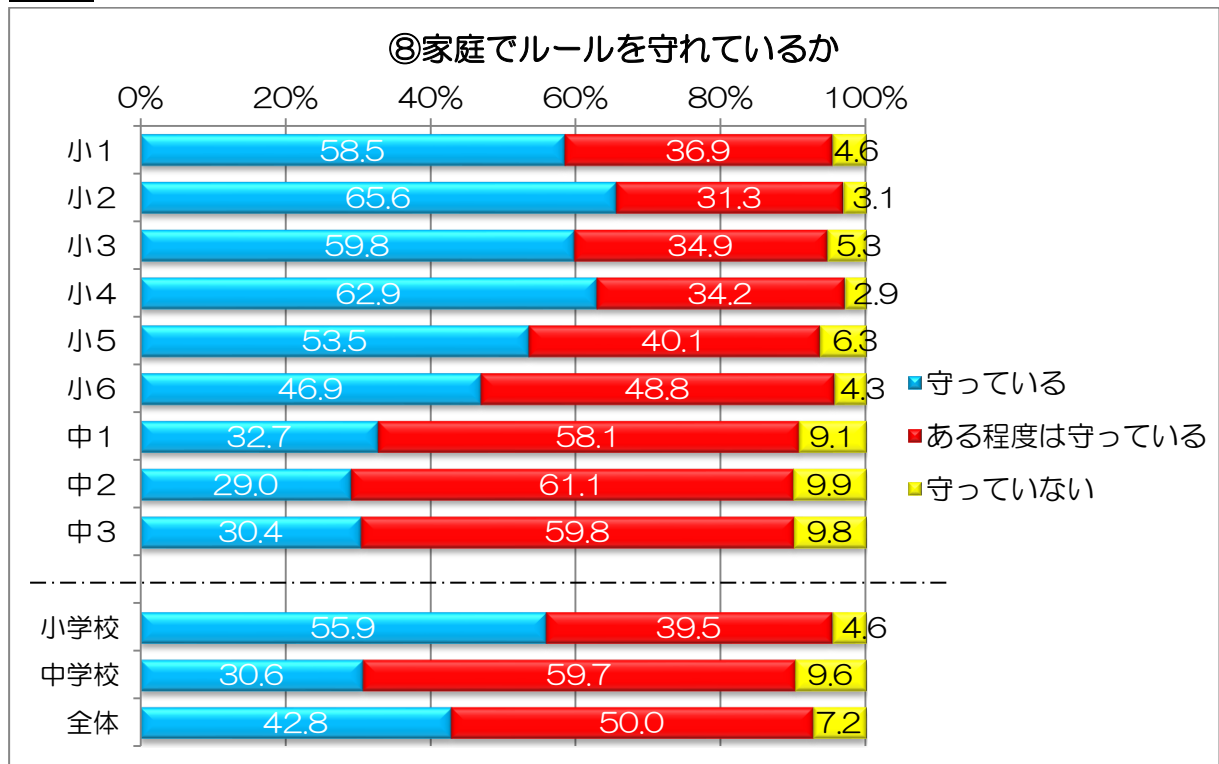


- ・「使用時間が長い」ことを問題としている保護者が、小学校で3割程度なのに対して中学校では約6割と2倍になっている。同様に他の問題も年齢が上がるにつれ増加する傾向がある。
- ・小学校では6割以上の保護者が「困っていることはない」としているが、中学校では3割を切っており、年齢が上がるにつれて、困っている保護者の割合が増加している。

質問⑦ 質問③で「持っている」と回答された方で、スマートフォンや携帯電話について、お子さんと使用のルールを決めていますか。

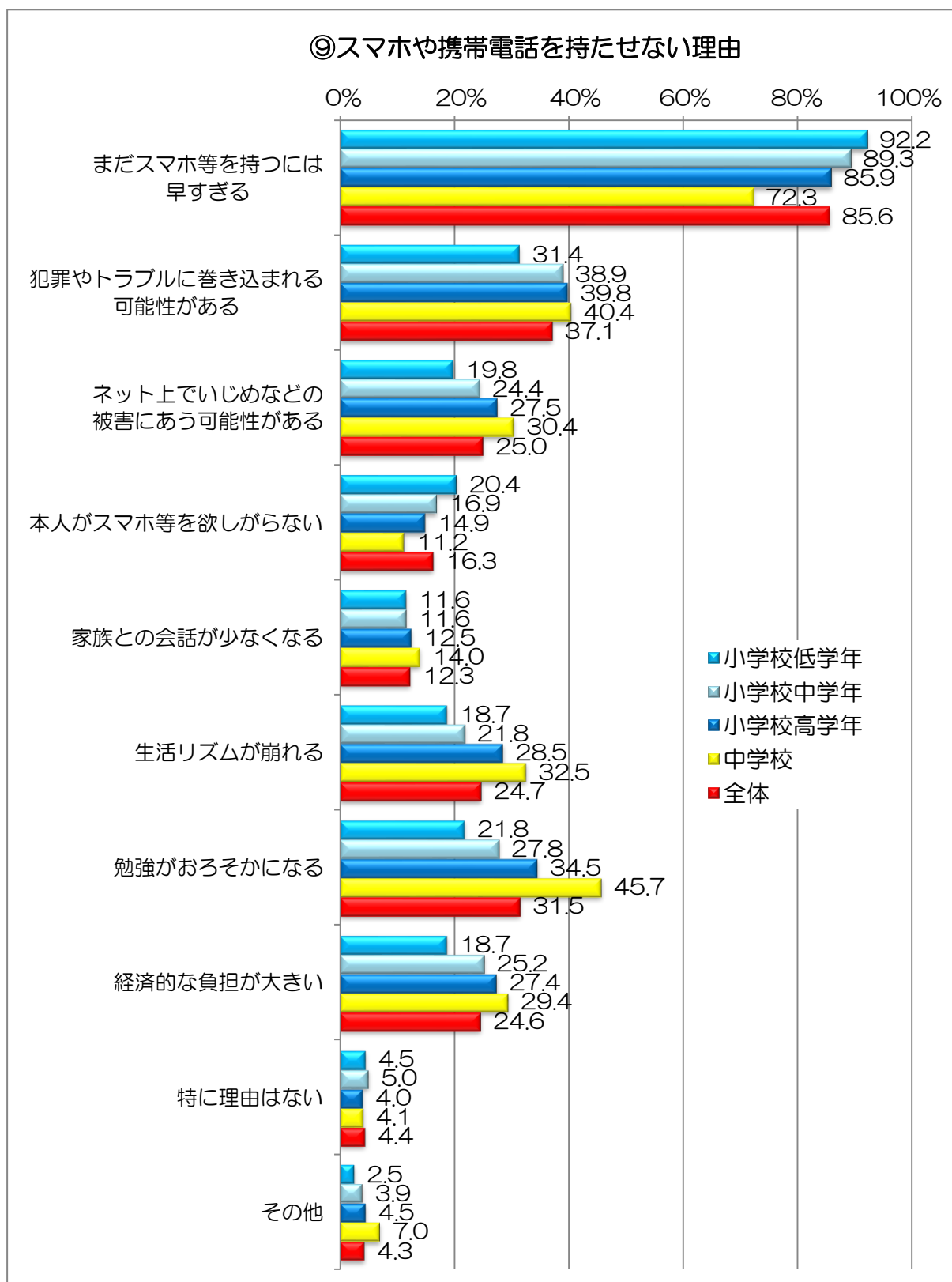


質問⑧ 質問③で「持っている」と回答された方で、使用のルールをお子さんは守っていますか。



- 概ね8割程度が「家庭でのルール」を決めているが、「家庭でルールを守っている」と回答した保護者は小学校で約56%、中学校では約31%であり、年齢が上がるにつれルールを守らせられていない現状が見られる。

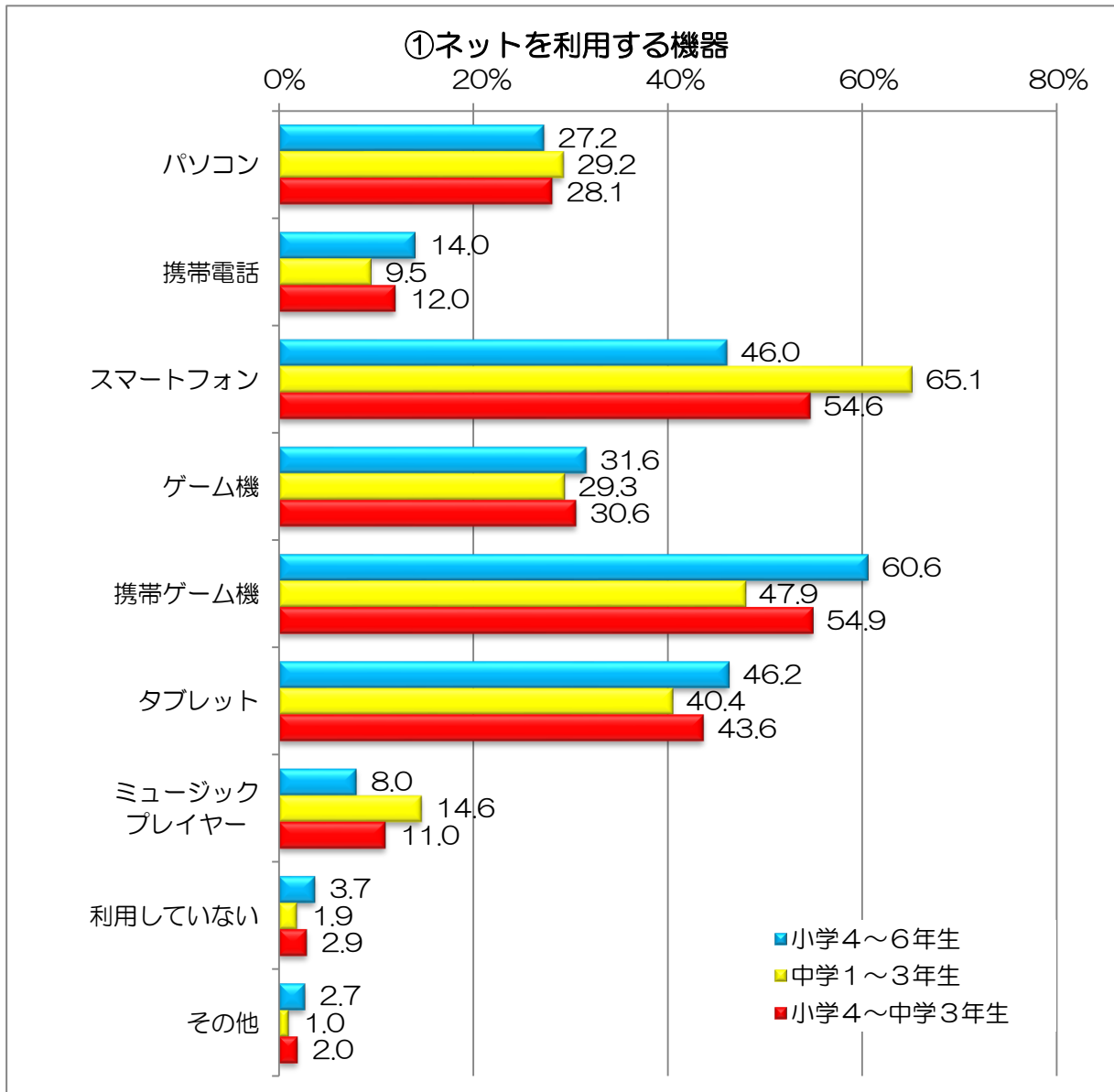
質問◎ 質問③で「持っていない」と回答された方で、スマートフォンや携帯電話を持たせていない理由は何ですか。(複数回答可)



- 持たせない理由として「まだスマホ等を持つには早すぎる」が最も多く約 86%である。
- スマートフォン等を持たせていない場合でも、インターネットを利用できる環境であればスマートフォン等を持った場合と同じリスクが潜んでいることも踏まえ、インターネットにつながる電子機器の使用に対して見守りや指導の啓発が必要であると考える。

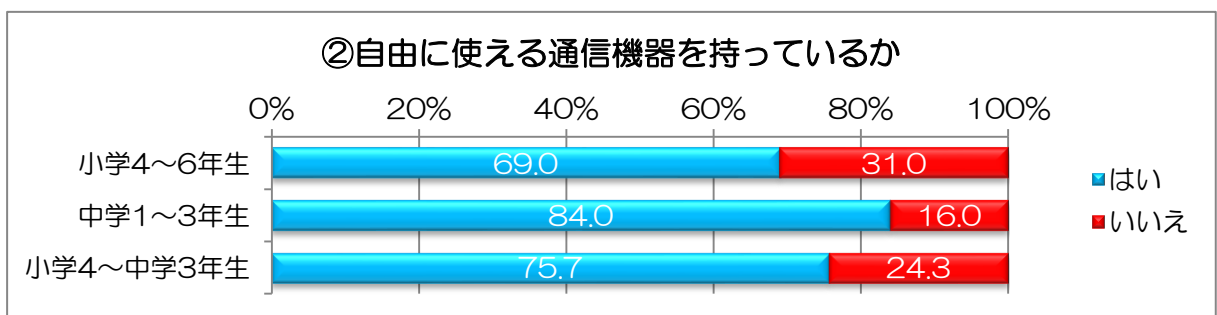
(2) 児童・生徒

質問① 家で主にどのようなものを使ってインターネットを利用していますか。(複数回答可)



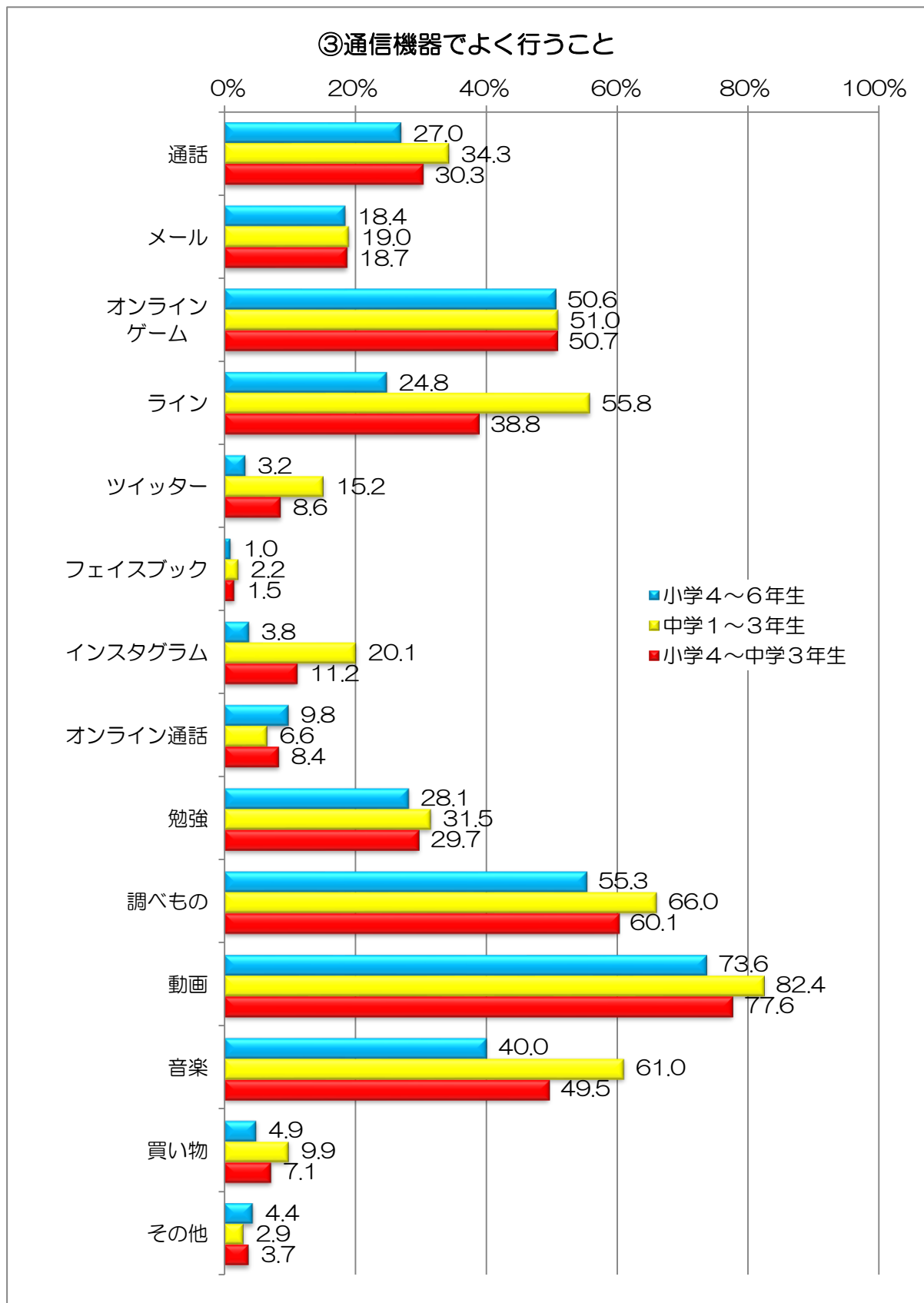
- 小学生は「携帯ゲーム機」60.6%、中学生は「スマートフォン」65.1%を使用してインターネットを利用している割合が多い。

質問② 質問①の機器で自分が自由に使えるものを持っていますか。



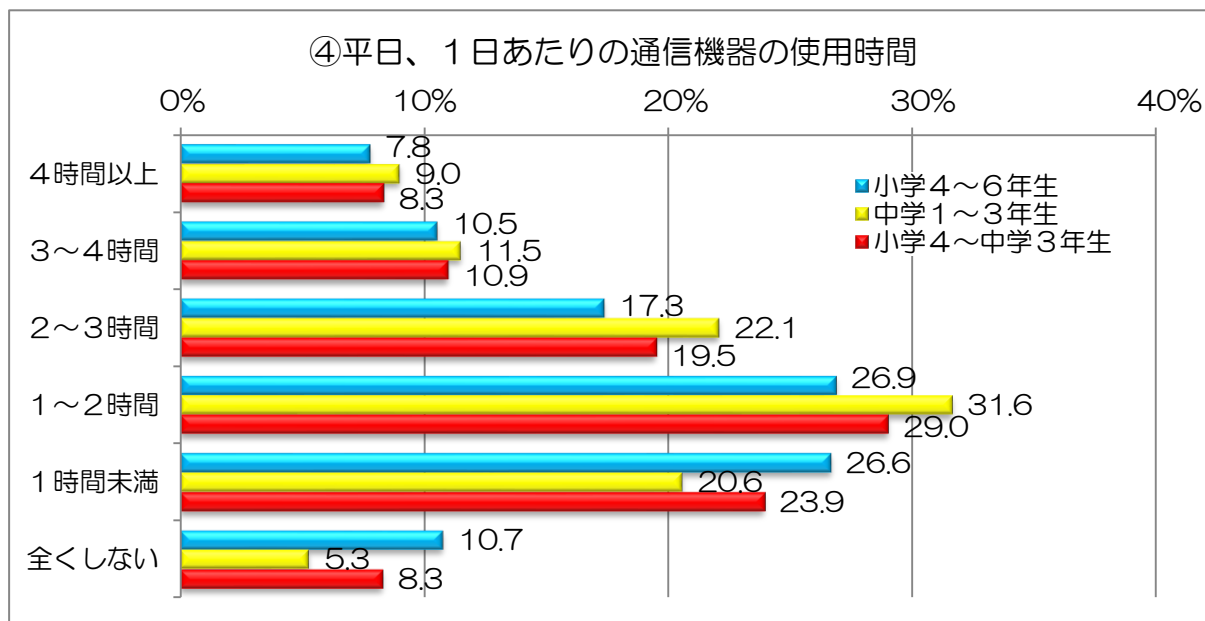
- 東広島市内小中学生の4人に3人がインターネットに自由に利用できる環境にある。

質問③ 質問①の機器を使ってよく行うことは何ですか。(複数回答可)

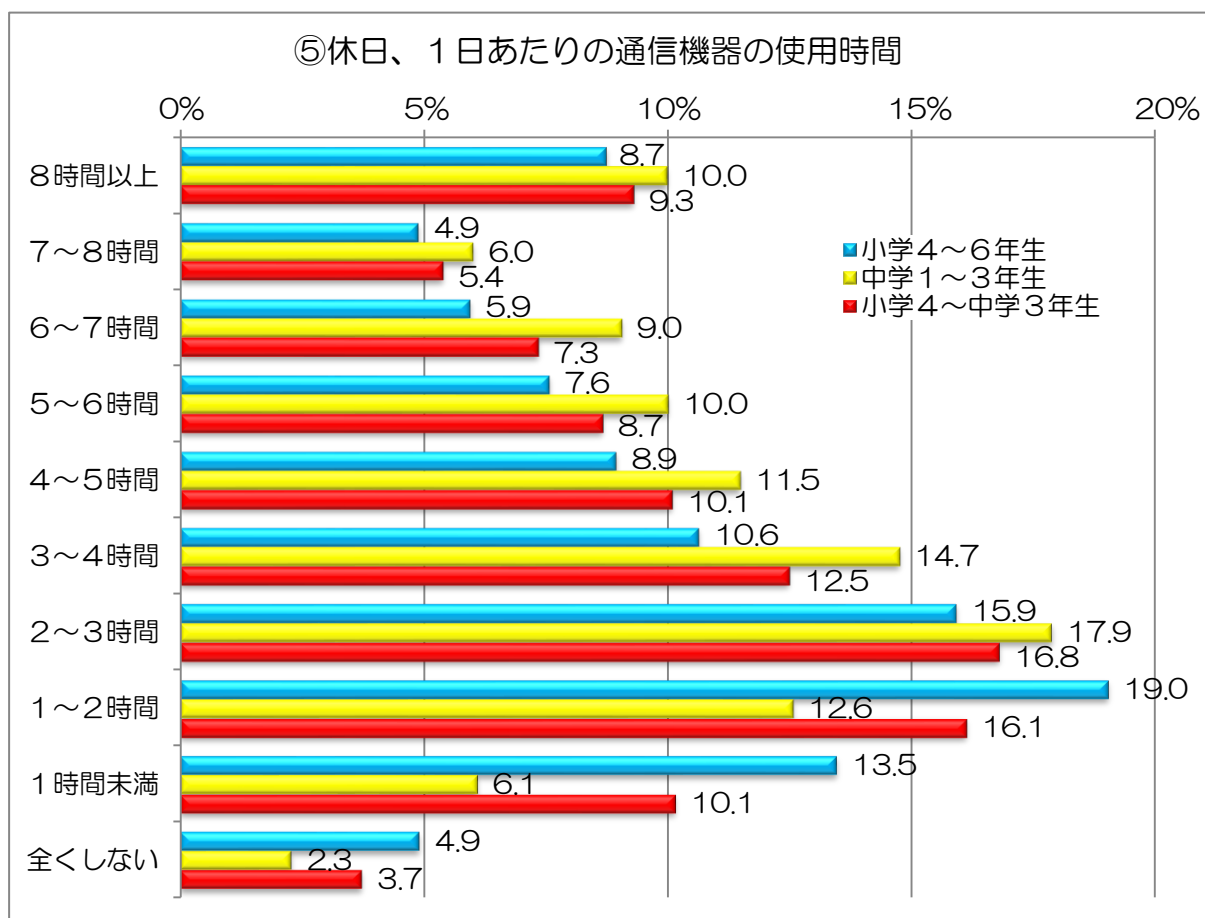


- インターネットを利用して行なっていることの1番は「動画視聴」で次に「調べもの」「オンラインゲーム」の順である。
- 通信手段として1番多く使っているのは、小学生は「通話」で中学生は「LINE」である。

質問④ 平日（学校のある日）、1日あたりどれくらいの時間、質問①の機器を使ってインターネット（メール、オンラインゲーム、ユーチューブの視聴を含む）をしていますか。

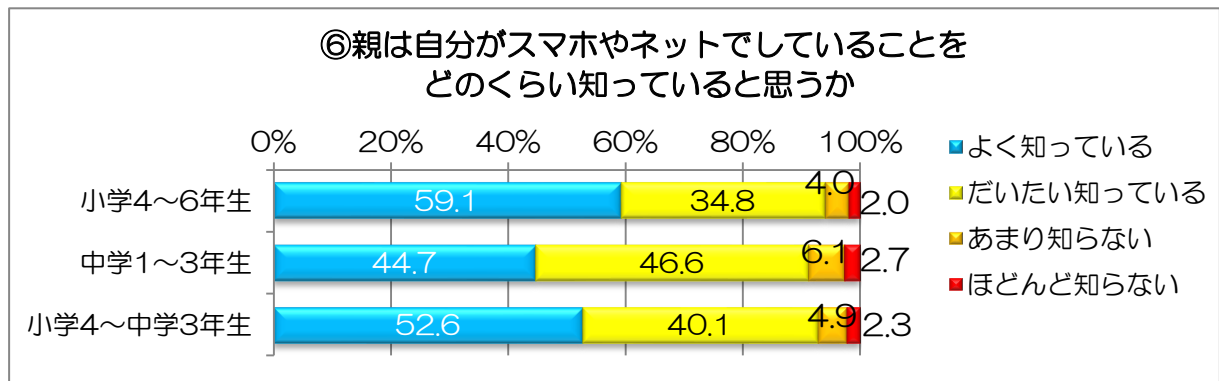


質問⑤ 休日（学校のない日）、1日あたりどれくらいの時間、質問①の機器を使ってインターネット（メール、オンラインゲーム、ユーチューブの視聴を含む）をしていますか。



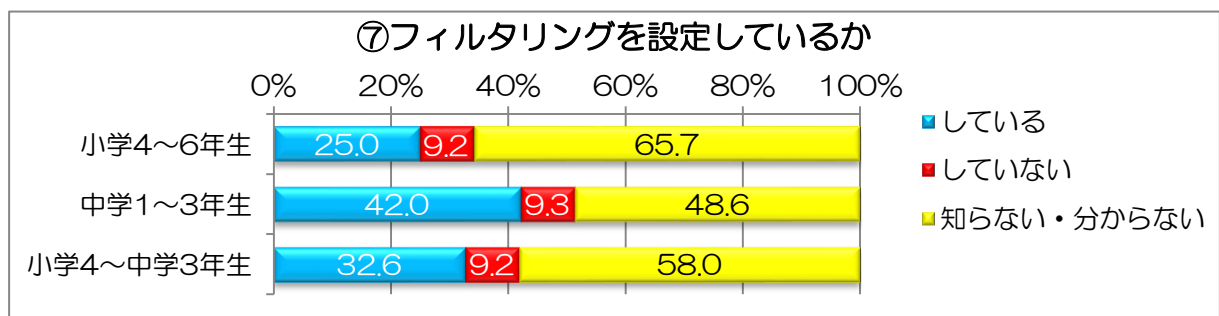
- ・小中学生の3割以上が平日2時間以上、休日5時間以上インターネットを利用している。
- ・インターネットを全く利用しない児童生徒の割合は平日8.3%、休日3.7%である。

質問⑥ あなたが、スマートフォンやインターネットで何をしているか親はどのくらい知っていると思いますか。



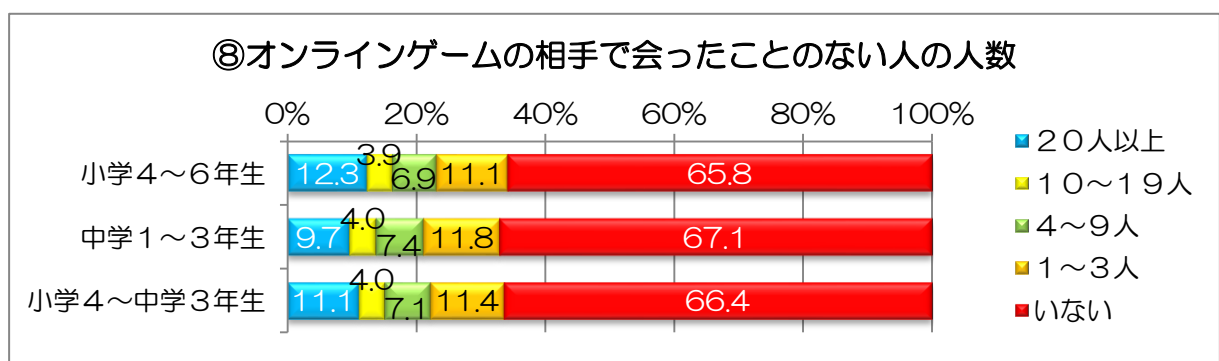
・児童生徒は「親がスマホやネットでしていること」を「あまり知らない」や「ほとんど知らない」が7.2%だが、保護者側からの困り感で「スマホ等以外でのネットの使用状況を把握できない」19.1%、「スマホ等で使用状況を把握できない」が15.9%であり、親子間で状況の把握の捉えに倍以上の開きがある。

質問⑦ フィルタリング（有害サイトをブロックするもの）を設定していますか。



・フィルタリングについて「していない」と「知らない・分からない」を合わせると67.2%となり、親子で有害サイト等に係わる危険についてあまり話し合われていないと考えられる。

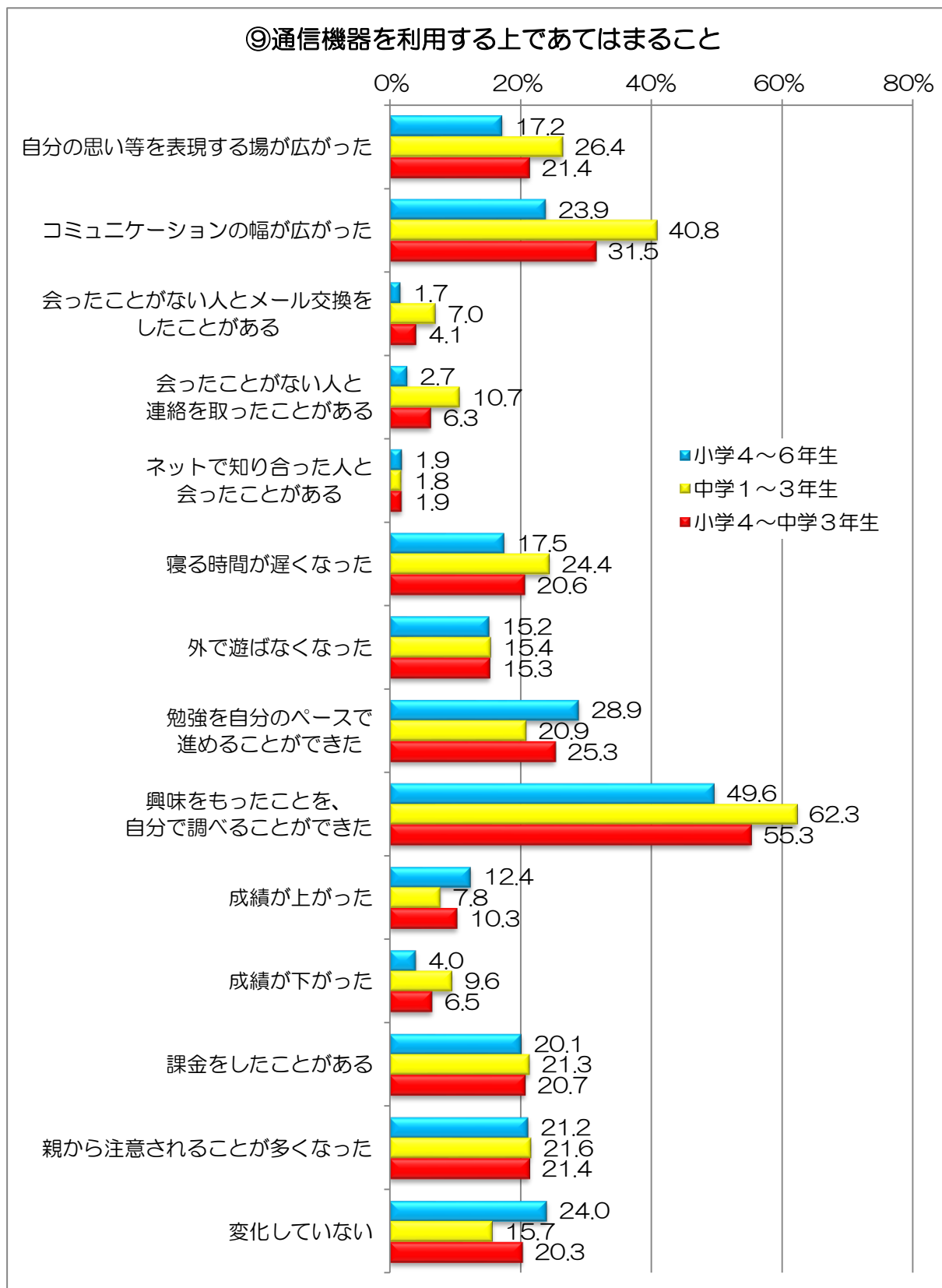
質問⑧ ゲーム内などでは、いつもやり取りをしているが、実際に会ったことのない人は何人くらいいますか。



・「オンラインゲームを20人以上の会ったことのない人としている」のは、中学生の9.7%より小学生の12.3%の方が多い。

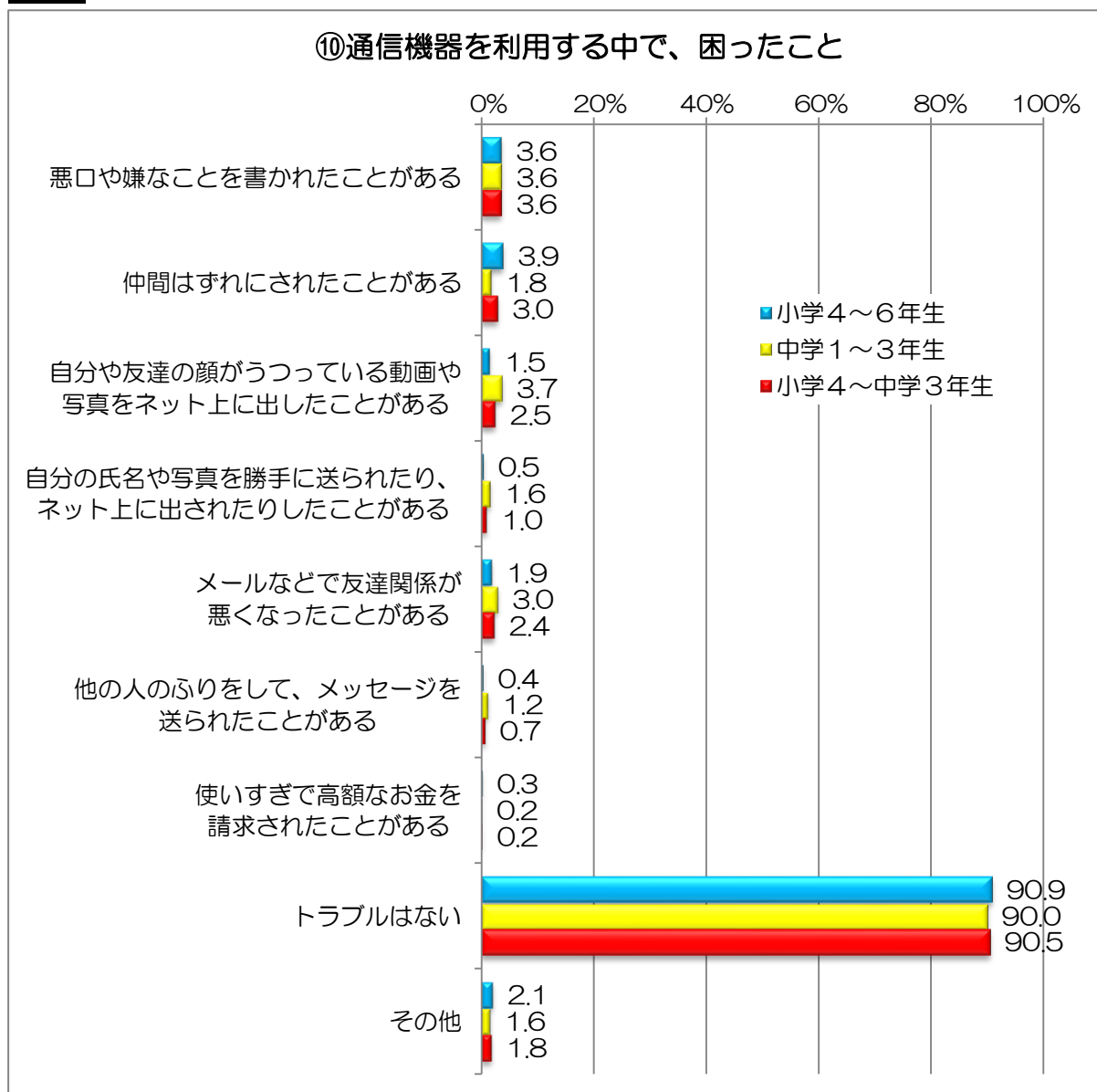
・「オンラインゲームを1人以上の会ったことのない人としている」のは、小学校4年から6年で34.2%、中学生で32.9%と年齢に差がほとんどない。

質問◎ 質問①の機器を利用することで、あてはまることがありますか。(複数回答可)



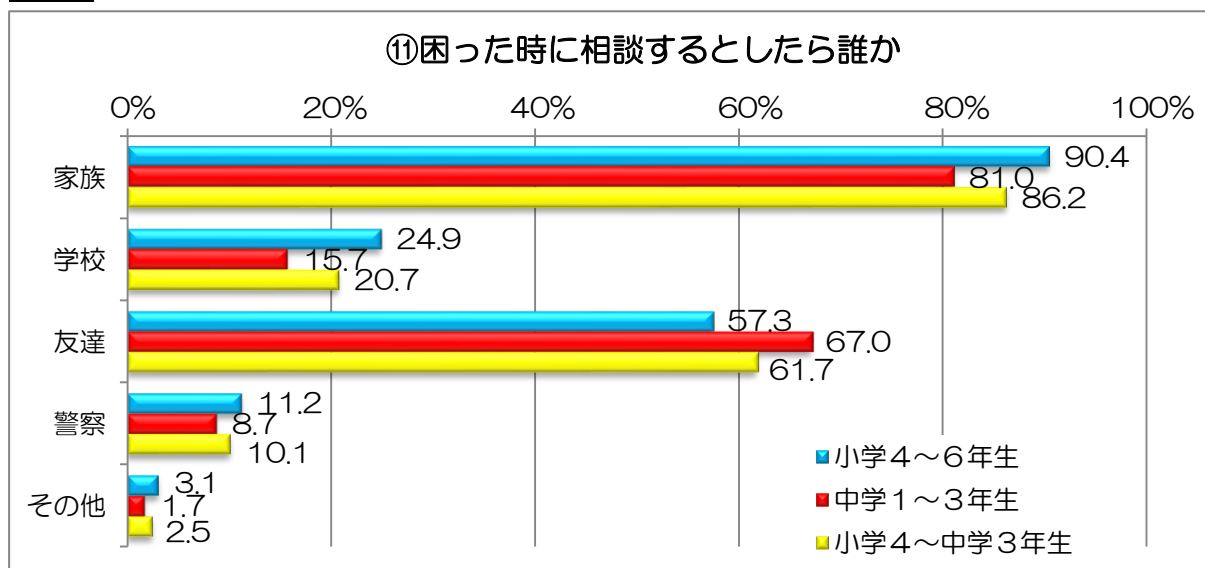
- 小中学生で「ネットで知り合った人と会ったことがある」2%弱、「課金をしたことがある」が20%強いる。
- 小中学生は「興味をもったことを、自分で調べることができた」55.3%、「勉強を自分のペースで進めることができた」25.3%などのメリットがあると感じている。

質問⑩ 質問①の機器を使う中で、困ったことはありませんか。(複数回答可)



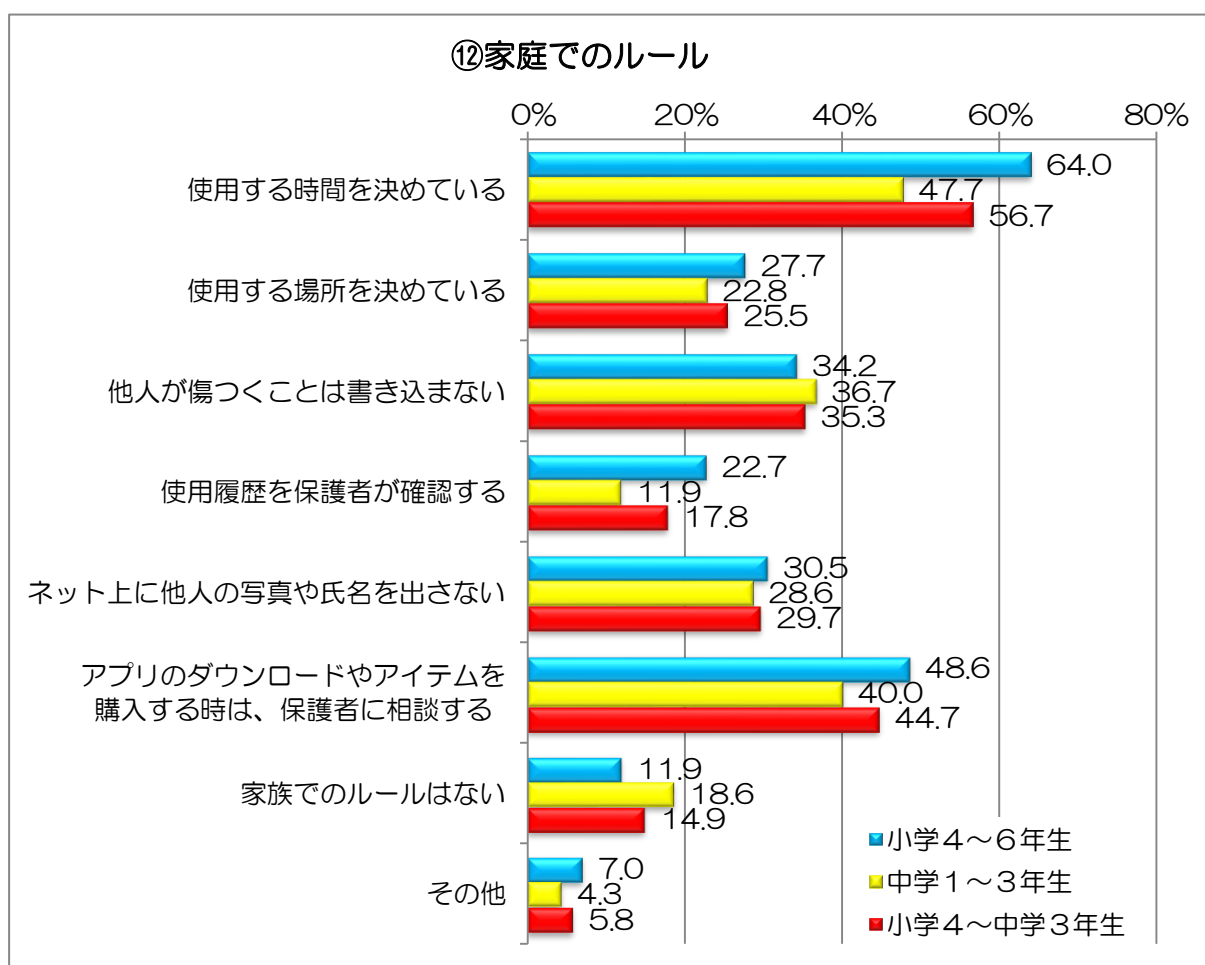
- 小中学生で「悪口や嫌なことを書かれたことがある」3.6%など、いじめの場となりえる。
- 困ったことの各割合で、小学生と中学生に大きな差が見られない。

質問⑪ 困ったときに相談するとしたら誰ですか。(複数回答可)



・相談相手として多くが家族 86.2%と友達 61.7%をあげている。

質問⑫ 質問⑪の機器を使う中で、家庭ではどのようなルールがありますか。(複数回答可)



- ・「使用履歴を保護者が確認する」が小学生 22.7%、中学生 11.9%で、「使用履歴を保護者が確認していない」のが小学生 8割弱、中学生 9割弱である。
- ・「家族でのルールはない」が小学生 11.9%、中学生 18.6%である。

(3) 前回調査（平成27年度）との関連

① 平成27年度調査設計

- ア 方 法 質問紙によるアンケート（無記名）
 イ 対 象 小学校：市内小学校35校に在籍する第5学年と第6学年の児童
 中学校：市内中学校14校に在籍する全生徒
 ウ 期 間 平成27年9月～10月
 エ 回答者数 小学生 3,651人、中学生 4,732人

② 前回調査との比較（顕著な項目のみ）

| | 質問内容 | | 小学5、6年生 | | 中学生 | |
|---|--------------------|---------------|---------|--------|--------|--------|
| | | | H27 | R2 | H27 | R2 |
| 1 | 回答者数 | | 3,651人 | 3,732人 | 4,732人 | 4,547人 |
| 2 | インターネットを利用する主な通信機器 | 携帯電話 | 6.6% | 14.3% | 4.2% | 9.5% |
| | | スマートフォン | 17.7% | 49.0% | 25.9% | 65.1% |
| 3 | 自由に使える通信機器を持っている | | 55.7% | 72.6% | 67% | 84.0% |
| 4 | 通信機器を使ってよく行うこと | ライン | 519人 | 1,010人 | 1,456人 | 2,508人 |
| | | 買い物 | 91人 | 182人 | 158人 | 443人 |
| 5 | フィルタリングをしている | | 24.0% | 27.3% | 35.1% | 42.0% |
| 6 | 知らない人と連絡をとった | | 39人 | 125人 | 82人 | 481人 |
| 7 | 嫌な経験 | 悪口や嫌なことを書かれた | 71人 | 130人 | 119人 | 163人 |
| | | 仲間外れにされた | 70人 | 129人 | 82人 | 481人 |
| | | メール等で関係が悪くなった | 39人 | 87人 | 48人 | 79人 |
| 8 | 家庭でのルール | 使用する時間を決めている | 1,468人 | 2,304人 | 1,482人 | 2,145人 |
| | | 使用履歴を保護者が確認する | 474人 | 842人 | 310人 | 533人 |
| | | 家庭でのルールはない | 793人 | 435人 | 1,374人 | 836人 |

〔分析〕

- ・質問2、3、4のように、本市において、携帯電話やスマートフォンの利用やインターネットの利用が確実に増加している。
- ・質問6の「知らない人と連絡をとった」など、ネットを通して不特定多数とのつながる可能性が増加している。
- ・質問7のようなネット上で児童生徒間のトラブルが確実に増加している。
- ・質問5、8について、保護者によるネット上のトラブル対策の必要性について、さらに啓発を行う必要がある。